

「知らない外国」から「行ってみたい場所」へ

氏名: 下松谷 智江

学校名: 防府市立牟礼中学校

担当教科: 英語

実践教科: 英語 学級活動 学年朝の会

時間数: 20

対象学年: 1・2年 人数: 28人(1年2組)82人(第1学年)

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：

- ・旅行の準備をとおして漢字や日本文化について考え、自分の国に興味をもつ。
- ・これまでに学習した英語を使って、スリランカに関するクイズに取り組む。
- ・言葉が分からないときや文字が読めないときの気持ちを体験したり、解決するための工夫を考えたりすることを通して、コミュニケーションについて考える。

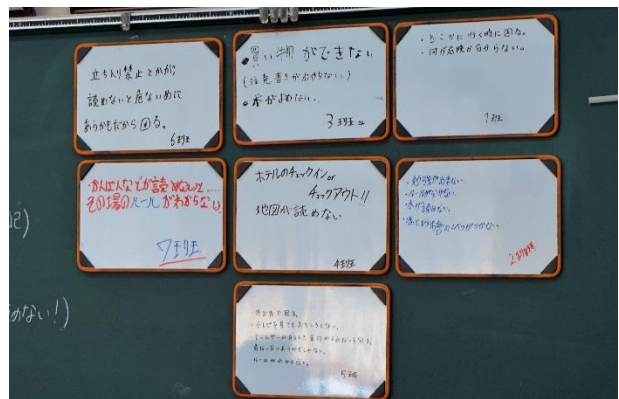
【2】 単元の評価 規準例	(ア) 関心・意欲・態度	各課題に興味をもち、積極的に取り組むことができる。
	(イ) 思考・判断・表現	課題への取り組みから、自分の意見をもつことができる。
	(ウ) 技能	
	(エ) 知識・理解	スリランカや日本の文化・歴史、2国のつながりについて知る。

【3】 単元設定の理由 ✓ 児童/生徒観 ✓ 教材観 ✓ 指導観	<p>✓生徒観</p> <p>1小1中で、ほとんどの生徒が9年間を一緒に過ごす環境の中で、生徒同士の距離が近く、自由に自分を表現できる生徒が多い。一方、保守的な面も見られ、新しいことに挑戦することをためらう生徒や、中学校卒業後も地元を離れることなく、ずっと地元で暮らしたいと考えている生徒もいる。班での話し合い活動や、個人での意見をまとめる作業に生徒は自然に取り組むことができる。</p> <p>✓教材観</p> <p>現地研修の前と後に授業をすることで、教師も生徒も一緒になって before / after を経験し、教師自身の変化をとおして生徒に伝えられるものがきっとあると考えた。出発前に日本からの土産やスリランカについて知りたいことを考えることで日本文化の学習に、外国でのコミュニケーションという点から英語科の学習に、さらにシンハラ語やタミル語といった未知の文字に出会うことで、読み書き（識字）についても考えるきっかけになればよいと考えた。</p> <p>✓指導観</p> <p>知らない場所へ行くことのドキドキワクワクした気持ちや不安な気持ち、日本ではできない現地での体験をありのままに伝えたい。授業を通して日本と外国とのつながりについて考え、「外国に行ってみたい」と生徒に感じてもらいたい。</p>
--	--

【4】展開計画（全7時間）			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	これからの学習について知る。	1年生の朝の学年集会で、①インターネットやSNSなど、世界中から瞬時に情報が交換できる便利さ、②海外で活躍する日本人、③スリランカ研修について、④これからの学習について、話をした。	スリランカの国旗
2	日本文化について考える1 (漢字、日本語) ・和英辞書を使う。 ・選んだ漢字を英語で紹介する。	外国の人に紹介したい漢字を一文字選び、英語での意味やイラストと合わせて紹介するカードを作った。 班で話し合うことで、同じ漢字のカードが複数できたり、漢字が思いつかない生徒がいたりするのを避けた。	和英辞書 色画用紙（ハート型） ホワイトボード（小） マジック
3	日本文化について考える2 ・現地での情報収集に役立っている。 ・2学期の学習への関心をもつ。	次の項目についてアンケートをとったあと、班で話し合った。 ①スリランカについて知っているか。 ②スリランカについて知りたいことは何か。 ③日本からのお土産は何がよいか。	アンケート用紙
4	Quiz Sri Lanka in English ・スリランカについて知る。 (生活、現在の様子)	スリランカの国旗や通貨、食べ物、研修中のできごとなどについての英語のクイズに班対抗で取り組んだ。	スリランカで撮った写真 英語で作ったクイズ
5	この写真の続きは？ ・スリランカについて知る。 (内戦について)	事前に写真の一部を見せて、周りの風景を想像して描いておくことを宿題にした。 朝の学年集会で、写真全体を見せ、まっすぐに続く道路の写真からほんの少し前まで内戦があったことについての話をした。倒れた給水塔の写真も紹介した。	スリランカで撮った写真（一部加工したもの）
6 本時	文字が読めるってすばらしい！ ・文字が読めないことの不自由さについて考える。	香港の中国語、スリランカのシンハラ語、タミル語を紹介し、 「文字が読めないときの気持ち」 「文字が読めないときにはどうするか」 「文字が読めないとき困ること」 「文字が読めないときの工夫」 について考えた。	スリランカで撮った写真をまとめたプレゼンテーション資料 ワークシート
7	これまでの学習をふりかえる。	スリランカを特集したテレビ番組を見たあと、これまでの学習内容をふりかえた。	

【5】 本時の展開			
過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (10分)	①題材の予告と本時のねらいを聞く。中国語で書かれたことばの意味を考える。	・文字が読めないことを体験してみる。	香港で撮った写真 ワークシート
	②文字の読めない状況を想像する。	・文字が読めないことにはどんな理由が考えられるか。 (外国にいる場面に限らず、いろいろな視点から考えられるようにする。)	
	③文字が読めないときにどんな行動をとるか考える。	・映像を見せることで想像を膨らませる。	現地で撮った写真・動画
展開 (30分)	④シンハラ語で書かれた飲みものの中からひとつを選んで飲み、文字が読めないときの気持ちを体験する。	・アレルギーのある生徒もいるので配慮する。 ・口にするまでの緊張感を大切に する。 ・迷う気持ちや不安な気持ちを体験し、どんな気持ちだったかを共有する。	3種類の透明な飲みもの シンハラ語で「水」「薬」「毒」と書かれたコップ
	⑤課題について考える。 「文字が読めないと生活上でどんなことが困るか考えてみよう。」	・個人で考えたあと班で話し合う。 ・話し合いの時間を十分にとる。	ホワイトボード
まとめ (10分)	⑥話し合いの結果を報告する。	・各班の意見をホワイトボードに書いて貼りクラスで共有する。	
	⑦感想や気づきをワークシートに記入し、本時の学習を振り返る。		

【授業実践の様子】



左上【中国語で書かれた言葉の意味を考えているところ】

右上【シンハラ語で書かれた3つの飲みものの中から選んで飲んでいているところ】

左下【文字が読めないと困ることを班で話し合っているところ】

右下【班で話し合った意見】

【6】本時の振り返り

生徒の感想

- ・私は最初、「文字が読めるってすばらしい！」と書いてあって、「そうか？」と思った。でも、「外国に行ったときは？」とか、「急に目が見えなくなったりしたら？」みたいなことを聞いて、そうだと思った。
- ・僕は、アレルギーをもっているんで、文字が読めないと食材が買えないので困るし、書いてあることが分からないときは悔しいので、文字が読めないといういろいろ困ることが分かった。
- ・文字が読めることはあたり前だと思っていたけれど、世界や日本の中にも文字が読めない、書けない人がいるのかということを知った。
- ・文字が読めないと、生活上でどんなことが困るか、またそのことでどんな気持ちになるか考えることができた。
- ・読み書きができることは大切なんだなと思った。私は、日本語は分かるけど、外国に行ったら何も分からなくて困ると思う。これからはいろいろな国の言葉を勉強して、外国に行ったときに困らないようにしたい。
- ・絵や英語など分かりやすくするといいと思った。

教師の感想

「文字が読めるってすばらしい！」というタイトルを聞いて、最初は「当たり前のことなのに」と思った生徒たちが、文字が読めないときの不自由さや不安な気持ちを体験し、文字が読めることのありがたさに気がつくことができた。生徒の気づきには、「(文字がよめないと) 悔しい」という意見があった。文字が読めなくて悔しい思いをしている人や不自由な生活をしている人がいることを知ることができた。今回はできなかったが、自分には何ができるかまで考えることができたらよかったと思った。

【7】単元を通した児童生徒の反応/変化

生徒の感想より

授業前

- ・(スリランカという国を) 知らなかった。
- ・外国への興味がなかった。
- ・英語は勉強しても使う機会がないと思っていた。
- ・文字が読めることが当たり前だと思っていた。
- ・「英語(を勉強すること)なんてめんどくさい」と思っていた。

授業後

○外国のこと

外国のことを調べてみたい。外国に行ってみたい。他の国と日本との関わりについて知りたい。自分の国だけでなく世界の国について知りたい。外国の人と交流したい。小さい国についても知りたい。ほかの国のことがニュースに出たり、スリランカのことが出たりしたら、詳しく調べてみたい。みんなが知らない国について、その国の良いところや名物を探してみたい。知らない外国に興味を持って、その国でどんなことがあったのかを知りたい。いろいろな国のことを知ることは楽しいし、大切だということがわかった。

○日本のこと

自分の国のことも知って、他の国の人に聞かれたら詳しく説明をして、自分の国をいい国と思ってもらえるようにしたい。スリランカのことを学ぶうちに、スリランカの良さだけでなく、日本の良さが見えてきた。日本との違いやスリランカの文化を知ることができて楽しかった。

○スリランカと日本のこと

スリランカと日本がすごく関わっていることが分かった。今の日本があるのは、スリランカのおかげだということがわかった。ジャヤワルダナ大統領が日本のために尽くしてくれたことを忘れてはいけないと思う。

○平和について

日本も内戦がないといいと思った。どうして内戦が起こったのか知りたい。ひとつの意見に偏らず、いろいろな意見で普段の生活をよりよいものにできるとよい。スリランカも日本も、中国などの大きな国と対等に意見し合えるとよい。

○言葉

英語だけでなくほかの国の言葉も話せるようになりたい。世界全体で共通して、英語が話せたらいいのと思った。英語がわかることはとてもいいと思った。なぜならそこからまた新しい発見があるから。

○そのほか

「自分たちが当たり前に行っていることが当たり前じゃない」ということを意識して生活していき

い。朝食のときに紅茶を飲んでいただけ、生産している国のことも調べてみたいと思った。

【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】

(授業前)

授業の前は、「スリランカってどこ？」というところから始まり、知っていることと言えば、「首都の名前が長い」ということくらいであった。外国については、「行きたくない」という生徒が驚くほど多く、理由として「言葉が通じない」「食べ物に困る」「知らない場所に行くのは怖い」とあげていた。

(授業後)

どの学習にも生徒は興味をもって取り組んでいた。最初は「知らない遠い国」だったのが、日本とのつながりを知り、写真や映像を見たり活動をしたりすることを通して、身近なこととして考えられるようになった。スリランカから送った暑中見舞いや、みんなで楽しんだお土産のクッキーや紅茶は生徒の心に残ったようだ。また、廊下に掲示したたくさんの写真に興味をもった生徒が多く、友達同士で写真を見ては話をしている姿が見られた。

【8】自己評価

1. 苦勞した点	伝えたいことが多く、その中からどれを生徒に伝えるか、内容を選ぶことにいちばん苦勞した。また、それぞれの内容が旅行の「思い出」ではなく生徒の学習となるように気をつけた。授業時間の確保も課題であったが、朝の学年集会や参観日と関連づけることで十分な時間を確保することができた。
2. 改善点	英語科の学習と関連させて言語や日本の文化、外国の文化や日本とのつながりについて学習を展開してきたが、教科の学習内容にもっと組み込めるところがあったと感じている。例えば、日本文化を紹介する文を英語で書いたり、選んだ漢字について、選んだ理由を英語で説明したりすればよかったと思う。また、授業実践で取り上げた「文字が読めるってすばらしい！」の学習については、文字が読めない理由が、あいまいなままに終わってしまった。ただ単に「外国の言葉だから」ではなく、「識字」の問題として貧困と合わせて考えられるようにもっていかれたと考えている。
3. 成果が出た点	<p>「ずっと日本で生活していくのに、どうして英語を勉強しなければいけないんですか。」と言っていた生徒が、授業後の感想に「これからは英語を勉強したいと思います。」書いてくれた。また、廊下に貼った写真をじっくりと見て、友達と話している姿をよく見かけた。「外国には行かない」と言っていた生徒たちも、興味をもち、授業に参加してくれていたようである。</p> <p>外国と関わりをもつことなく生きていくことはできないことに気づき、英語を母語としない人たちとコミュニケーションをとるための手段として、英語を勉強する理由を見つけられたとしたらうれしく思う。</p>

<p>4. 備考（授業者による自由記述）</p>	<p>この10日間のスリランカでの研修は、「自分のためになる研修」だったと思う。私自身、途上国について「知らない遠い国」のことだと思っていた。現地の人と一緒に話をしたり食事をしたりして、私たち日本人と変わらないところもたくさん発見することができた。「外国」というと、とても特別な気持ちができるけれど、そうではないことを実感した。この経験をこれからの学校生活を通して、少しずつ生徒に還元していき、生徒にとっての「行ってみたい場所」が増えていったらうれしく思う。</p>
--------------------------	---

添付資料：

- 資料① 漢字紹介カード ※生徒が作った作品の写真
- 資料② 事前アンケート
- 資料③ クイズ スリランカ ※問題
- 資料④ クイズ スリランカ ※写真
- 資料⑤ この道の続きは？ ※ワークシート
- 資料⑥ 「文字が読めるってすばらしい！」※ワークシート
- 資料⑦ 「文字が読めるってすばらしい！」※パワーポイント
- 資料⑧ ふりかえり ※ワークシート

参考資料：

『チャレンジ総合的学習1 中学校「国際理解」ファックス教材集』
 澁澤文隆明・治図書出版株式会社（1998）
 未来世紀ジパング「インド洋の真珠 スリランカ争奪戦」テレビ東京 2017年10月30日放送
 世界の村で発見 こんなところに日本人 テレビ朝日 2017年7月4日放送

.....

資料①

